

学習塾でもキャリア教育を
—キャリア権推進ネットワークで考える—

開倫塾
塾長 林明夫

Q 1：キャリアとは何ですか。

A：英語の「CAREER」のことかと考えます。このことばは、中世のラテン語「carrari」、「馬車の道、轍（わだち）」から転じて、「人の通ってきた筋道・経歴」となったものです。

Q 2：自分のキャリアは自分で磨くとは、どういうことですか。

A：自分がこれから歩む道は、自分の力で磨き上げる。学校を卒業したら、どのような仕事・職業に就くのか、どのような社会的な活動をするのか、どのような人生を歩むのかは自分で考え、自分で決め、自分の力で磨き上げる。自分の未来は自分で切り開く。こういうことだと考えます。

Q 3：小学校、中学校、高校、大学などの勉強は、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A：小学校から大学、大学院までのすべての教科の勉強、教科外のすべての教育活動は、社会に出て、仕事や社会的な活動をするのに、また、よく生きるのに役に立ちます。学校での勉強や教育活動なしに、仕事や社会的な活動をすることは困難です。よい仕事や社会的な活動、よく生きることの前提は、学校での全教科の勉強と教科外の教育活動です。

Q 4：定期試験や入学試験の勉強も、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A：もちろんです。定期試験で100点満点を取るための勉強や、入学試験で合格点を取って第1志望校に合格を果たすための勉強は、それまでに学んだことを十分に「理解」し、身に着け（「定着」させ）ますので、自分の力で自分のキャリアを磨くことに直結します。

Q 5：第1志望校の決定も、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A：はい。どの学校で勉強するかを「自己決定」、自分の力で決定することは、キャリアを磨き込むことの第1歩です。自分の力で十分に調査し、よく考えた上で第1志望校を決定しましょう。そのあとは、「受験生としての自覚」を持ち、第1志望校合格のために自分から進んで学ぶ力、主体的に学ぶ力を身に着けることです。つまり、「自己学習能力の育成」が大切です。

Q 6：キャリアを磨き込むことは、学校を卒業してからも行ったほうがよいのですか。

A：キャリアを磨き込むことが最も大切なのは、仕事に就いてからです。1つの仕事に精通し、お客様や社会のお役に立つために身に着けなければならないことは、およそ200あると言われ

ています。1つ1つ誠実に、仕事の上で必要な「スキル(能力)アップ」に励みましょう。

Q 7：転職にも、キャリアを磨き込むこととスキルアップが必要なのですか。

A：その通りです。よい転職には、転職前の準備と転職後の「キャリア磨き」が大切です。定年後の「キャリア磨き」も大切ですよ。「キャリア磨き」と「スキルアップ」は一生行うことが求められます。

Q 8：では、キャリア権とは何ですか。

A：働く人が、その人生（ライフキャリア）に大きな位置を占める職業生活（職業キャリア）を通じて自己実現し、幸福を追求する権利です。生涯にわたり「働くこと」を通じて、生計を維持し学習をし自己実現を図ること、これら一連の行為によって幸福で豊かな生活を営むこと、いわば、「働くこと」を通して、働く人の人間らしい生活を応援することです。

憲法 13 条の幸福追求権、22 条の職業選択の自由、25 条の生存権、26 条の教育権、27 条の労働権などに裏打ちされた「基本的人権」だと考えます。自分のキャリアは自分で磨き、自分の未来は自分で切り開きましょう。

*以上、NPO 法人キャリア権推進ネットワーク「キャリア権を知ろう、キャリアを磨く、キャリアを活かす」2013 年 4 月 16 日を参照させて頂きました。

Q 9：学習塾、予備校、私立学校の幹部の先生方をお願いしたいことは何ですか。

A：「キャリアを磨き、キャリアを活かすキャリア教育」を、受験勉強を通して、児童・生徒はもちろん、先生方や事務職員、地域の皆様に行って頂きたくお願いいたします。仕事や社会的な活動、人生の「価値・意味・秩序」を自分の力で考え、「自分の未来は自分で切り開く力」を育てて頂きたく希望します。特に社員一人ひとりのキャリア形成支援は、生産性向上や活性化だけでなく、企業の価値を高め、優秀な人材のリテンション、継続雇用に役に立ちます。毎年、11 月 23 日の「勤労感謝の日」を「キャリア教育の日」とする沖縄県の取り組みを、全国の皆様とともに行いたく存じます。開倫塾も、キャリア教育推進企業、更には、キャリア権推進企業を目指したく存じます。

Q 10：最後にひとことどうぞ。

A：先生方がお読みになれば必ずお役に立つ本をご紹介します。

(1) 1 冊目は、キャリア権の提唱者、諏訪康雄編著「キャリア・チェンジ！—あきらめずに社会人大学院！新たなキャリアを切り拓こう—」生産性出版 2013 年 2 月 5 日刊です。同著「雇用政策とキャリア権 キャリア法学への模索」弘文堂 2017 年 2 月 15 日刊とともにお読みください。キャリアとは何か、キャリア権とは何か、キャリア権推進企業として行うべきことは何かがよくわかります。トップマネジメントだけでなく、人事担当者、マネージャークラスもキャリアやキャリア権の勉強は欠かせませんので、よいテキストになります。

*キャリア権にご興味のある先生は、キャリア権推進ネットワークの HP を是非ご参照ください。

(2) 2 冊目は、世界を駆け巡る国際派詩人、白石かずこ著「白石かずこ詩集成」第 I～III 巻、し

よし山田 2018 年 6 月 20 日刊です。文字通り、世界でご活躍の詩人、白石先生の詩集の集大成とも言える大著です。詩の素晴らしさだけでなく、詩の可能性がよく理解できます。詩がお好きな先生方には超おすすめです。

(3) 3 冊目は、田中英道著「日本美術全史」講談社学術文庫、講談社 2012 年 4 月 10 日刊です。同著「げいじゅつこっか 芸術国家 にほん 日本のかがやき」第 I～III 巻、勉誠出版 2017 年 4 月 10 日刊や、同著「日本国史—世界最古の国の新しい物ヒストリー 語」育鵬社 2018 年 6 月 11 日刊と併せ読むと、日本の素晴らしさがひしひしと実感できます。田中先生の最新著「日本人を肯定する 近代保守の死」勉誠出版 2018 年 9 月は、戦後日本の精神状況・政治状況、日本のよさ、日本の文化を理解するのに役に立ちます。

* 田中先生の講義を、日本工業倶楽部素修会で 11 月 13 日(火)にお聞きし、講義後、1 時間あまりの懇談会に参加させて頂いて以来、集中的にご著書を読ませて頂いております。

(4) 4 冊目は、イエール大学法学部教授オーナ・ハサウェイ著／スコット・シャピーロ著「逆転の大戦争史」文藝春秋社 2018 年 10 月 10 日刊です。1928 年のパリ不戦条約は、戦争のルール、世界の秩序を根底から変えました。力作です。1928 年前の旧体制では戦争の原因となるような事件であっても、新体制では戦争にならず経済制裁となっている状況がよくわかります。原題は、「THE INTERNATIONARISTS」。国際主義者、国際派人材こそが現代世界の難局を切り拓くというものです。

(5) 5 冊目は、日本経済新聞社編「世界最強の経営者 変革成功の鍵はこれだ！」日本経済新聞出版社 2002 年 4 月 4 日刊です。本書は 2001 年の秋に開催された「世界経営者会議」の速記録です。ジャック・ウェルチ(GE 会長)、カルロス・ゴーン(日産自動車 CEO)、ルイス・V・ガースナー Jr.(IBM 会長)、張富士夫(トヨタ自動車社長)、御手洗富士夫(キヤノン社長)、柳井正(ファーストリテイリング社長)、桜井正光(リコー社長)など、今考えてもきら星のような大経営者の講演速記録は、今再読しても、とても参考になります。インターネットで古本屋巡りをして、「日経フォーラム世界経営者会議」など経営者の講演速記録を探し、じっくり読むことも超おすすめです。

* 経営者が行うべきことは、これからの世の中がどう変化するかという情報収集と、経営についての基本的な勉強です。世界的な企業経営者の講演会に出掛けたり、講演速記録をじっくり読んだりすることを定期的に行うことをお奨めいたします。

2018 年 12 月 5 日 (水) 8 時 32 分